

令和3年度第1回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2021年4月22日（木）

午後3時30分から17時10分まで

片瀬市民センター 2階ホール

《出席者》

- ・委員 18人（現在数20人）
（欠席）2人（甘粕（寿）委員，依藤委員）
- ・事務局 8人

《当日資料一覧》

1. 令和3年度 第1回 片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 次第
2. 令和2年度 片瀬・江の島まちづくり協議会 活動報告集
3. 回覧チラシ(4/5, 4/20)

1. 開会

2. 会長あいさつ

畠山会長からごあいさつをいただいた。

その後、横田センター長からあいさつがあり、今年度のセンター職員の自己紹介を行ったあと、出席委員にも自己紹介を行っていただいた。

3. 議題

（1）各部会からの報告および今年度の活動について

令和2年度片瀬・江の島まちづくり協議会活動報告集や回覧チラシを基に、各部会または地域団体から昨年度の活動報告や、抱えている課題、今年度の活動予定について報告がされた。各団体の報告内容は次のとおり。

- ・人材・情報バンクセンター運営委員会（澁谷（宏）部会長，事務局）

昨年度の活動は感染症拡大の影響により、地域の活動が少なかったことに比例する形で少なくなってしまった。課題として、引き続き地域への認知度，浸透度の向上の必要性があることから、情報の収集，発信方法の見直しを今年度は取り組んでいくとともに、各地域団体の総会などに参加するだけでなく、別途連携をとるための打ち合わせなどを行っていきたい。

- ・ボランティアセンター運営委員会（渋谷（晴）部会長，事務局）

昨年度は活動・開所を縮小していたが、今年度の活動についての協議を5月20日の運営委員会にて行う予定となっている。特に、コロナ禍で外に出ることができず、引きこもりがちになっている子育ての母親などを対象として、事業の展開を考えている。

- ・青少年健全育成部会（三觜部会長，事務局）

引き続き、子ども関係団体との意見交換を実施していく。昨年度は事業が感染症拡大のため実施できなかったため、早い段階でコロナ禍でもできることを協議していく予定である。特

に、こういった情勢で外に出れない子どもの心の問題を1つの課題とし、解決できるよう取り組む。

- ・郷土文化推進部会（畠山副部長，事務局）

片瀬こま，片瀬餅つき唄の昨年度の活動報告と今年度の活動予定報告と，まち歩きマップの実物の作製と配布対象の検討を行う予定である。

- ・生活環境協議会（村越委員）

4月24日(土)開催予定の江の島，片瀬・鵜沼海岸クリーン活動について告知と協力のお願いがされた。

- ・社会福祉協議会（渋谷（晴）副会長）

4月10日号の「片瀬社協だより しあわせ」について，今回の発行で休刊なることが報告された。

- ・青少年支援フォーラム（徳江委員）

4月10日号の「青少年支援フォーラム広報誌」を基に，阪神淡路大震災慰霊ろうそく送付などの活動報告がされた。

- ・青少年育成協力会（三觜副会長）

4月10日号の「潮の子・かたせ」を基に，昨年度は片瀬小学校の運動会が中止となったため，表現発表会のDVD作成の支援が行われたなどの活動報告がされた。

- ・片瀬 - 市民スポーツの会（阪井委員）

4月29日(木・祝)開催のソフトボール大会と，4月25日号のグラウンドゴルフ大会について，開催告知がされた。

- ・防犯協会（甘粕（勇）委員）

4月15日(木)に片瀬地区防犯協会の総会が実施されたことが報告された。

- ・公民館（事務局）

4月25日号の「知笑の輪倶楽部」についての告知と，直近の公民館事業についての告知がされた。

〈質疑応答〉

- ・4月10日号の「まちづくり通信」において，裏面の内容に「弁天橋花いっぱい愛好会」の活動報告が掲載されていることについて，本来は「緑と花いっぱい推進活動事業」の1つとして，活動しているものを，あたかも事業そのもののように掲載していることはどうか。

→（事務局）昨年度は，感染症対策の影響で，軒並み事業が実施できていなかったなかで，活動をしていた事業として，掲載をさせていただいた。表題の掲載について，一事業ではないものを掲載したことについては，他団体への配慮が欠けていたとしてお詫び。今回の掲載によって，愛好会の立ち位置等が変わることはなく、あくまで「緑と花いっぱい推進活動事業」の取り組みのうちの1つであることを改めて説明。

（2）令和3年度の地区集会「テーマ」について

第1回のテーマについて，4月8日(木)に実施された役員会において，防災をテーマにしたものとして，鎌倉市が作成した津波シミュレーション動画(DVD)を鑑賞した後にディ

スカッションを行うという案と、講師（アジア防災センター理事長の小川雄二郎氏が候補として挙げた）を招き、講演会を行った後、ディスカッションを行うという案の二つが立案されたことが畠山会長から報告がされ、委員にて協議を行った。なお、前者の津波シミュレーションの動画について、最終的には藤沢市版を作成するというのも1つの案として会長から挙げた。

第2回のテーマについては、年度末の活動報告のほかに、以前から候補として挙げていた落語に関する内容も検討していることが畠山会長から報告された。

出席委員の意見については次のとおり。

〈第1回地区集会に関する意見〉

- ・令和2年度に津波ハザードマップが改訂されたことや、津波災害警戒区域の指定がされたことから、そういったことの説明を市などに実施してもらったりなど、当たり前の情報を改めて知ってもらう機会にする。
- ・DVD鑑賞や防災の情報提供を基に、改めて片瀬地区ではどういうことが起こりえるのか全体的にイメージをしてもらう内容がいい。
- ・防災をテーマにする中で、地域防災に近い内容にする場合は、地区自主防災協議会にも了承を得る必要があるし、そちらで実施しているような内容とは異なることをやるべき必要がある。
- ・意見の中で、津波に特化した形で話が進んでいるが、地区内では津波が来ないところもあるので、津波だけでなく、地震から津波まで一連の災害という観点で考えるべき。
- ・講演について、防災の専門家の視点から片瀬地区の災害等について話をしてもらえると違った気付きなどもあるので、良いのではないかな。

（3）今年度の会議日程について

資料内の「令和3年度会議日程」について、5月の全体会の開催日が当初予定されていた5月27日(木)から、翌日の28日(金)に変更になることが事務局から報告された。

（4）その他

資料内の「片瀬・江の島浮世絵展」について、チラシを基に日時や開催内容の報告が事務局からされた。また、5月に藤沢浮世絵館からチラシが納入されるため、委員に告知協力をお願いがされた。

4. その他

次回の役員会、全体会について、次第のとおり確認を行った。※開催通知は別途送付

5. 閉会

以 上

令和3年度第2回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2021年5月28日（金）

午後3時30分から17時15分まで

片瀬市民センター 2階ホール

《出席者》

- ・委員 16人（現在数20人）
（欠席）4人（秋岡委員，高野委員，吉見委員，依藤委員）
- ・事務局 7人
- ・藤沢市企画政策課 1人（青木主幹）
- ・藤沢市郷土歴史課 1人（益田主査）
- ・藤沢市東京オリンピック・パラリンピック開催準備室 1人（広岡補佐）
- ・公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会 2人
（大会運営局 川合係長 輸送局 安藤係長）

《当日資料一覧》

1. 令和3年度 第2回 片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 次第
2. 藤沢市市政運営の総合指針2024の策定について（報告）
3. 藤沢市市政運営の総合指針2024
～2040年に向けた持続可能なまちづくりへの転換～
4. 郷土愛あふれる藤沢
5. 別冊 藤沢市市政運営の総合指針2024
～2040年に向けた持続可能なまちづくりへの転換～ 事業集
6. 東京2020大会 セーリング競技 江の島会場説明会
7. 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 競技会場周辺の交通規制のお知らせ
8. 東京2020大会 関連事業について
9. 浮世絵にみる江戸時代の江の島・藤沢
10. 回覧チラシ(5/6, 5/20)

1. 開会

2. 会長あいさつ

畠山会長からごあいさつをいただいた。

3. 報告

（1）藤沢市市政運営の総合指針2024について（企画政策課から）

●藤沢市企画政策課の青木主幹から，資料「郷土愛あふれる藤沢」に沿って，策定された総合指針の概要について説明がされた。内容については、次のとお

り。

・2ページの“めざす都市像”については、鈴木市長が引き続き市長となっているため、総合指針2020と変わらず、“郷土愛あふれる藤沢”となっている。

基本目標は8つ掲げている。

・3ページの“まちづくりテーマと重点施策”では、5つのまちづくりテーマを記載しており、本編資料にあたる「藤沢市市政運営の総合指針2024～2040年に向けた持続可能なまちづくりへの転換～」の32ページ以降にも記載されている。

・3ページの右側“重点方針”の下部にもあるとおり、今後の4年間（令和3年～6年）、新型コロナウイルス感染症対策を最優先としつつも、喫緊の課題に着実に対応し、20年後を見据えた持続可能なまちづくりへの転換を進める最初の4年間と捉え、取り組みを進める。

・長期的な視点として、4ページのとおり、3つのまちづくりコンセプトを追加して計画を進めていく。

・詳細については、本編資料にあたる「藤沢市市政運営の総合指針2024～2040年に向けた持続可能なまちづくりへの転換～」にて記載をしており、「別冊 藤沢市市政運営の総合指針2024～2040年に向けた持続可能なまちづくりへの転換～事業集」については、今後4年間で重点的に取り組んでいく93項目の事業のうち、地域まちづくり事業を中心にまとめたものとなっている。片瀬地区の地域まちづくり事業については130ページに記載されている。

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック大会について

●東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の川合係長、安藤係長から、資料「東京2020大会 セーリング競技 江の島会場説明会」に沿って、セーリング競技の概要（2ページ）、スケジュール（3～4ページ）、片瀬地区内の交通規制の概要（5～9ページ）について説明がされた。委員からの質疑応答については次のとおり。

〈質問1〉オリンピックの開催にかかわらず、江の島入口の交差点周辺道路では、普段からかなりの渋滞がある。通行規制への対策はどのように考えているか。

〈回答1〉資料「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 競技会場周辺の交通規制のお知らせ」というチラシを、会場周辺の地域にはポスティングする。他にも神奈川県内約140か所への看板の設置と道路情報版の活用。ラジオCMやSNSなどの方法を現在検討している。

〈質問2〉8月5日は予備日となっているが、4日までに予定通り競技の実施が終了した場合も、通行規制は5日も行うのか。

〈回答2〉警察との協議も必要になってくるが、4日で終了した場合は、5日の通行規制は行わないように考えている。

〈質問3〉競技自体は7月25日からだが、7月1日以降から会場範囲には入れないのか。

〈回答3〉競技の準備等もあるため、1日から立入制限を行う。

●藤沢市オリンピック・パラリンピック開催準備室の広岡補佐から、資料「東京2020大会 関連事業について」に沿って、聖火リレー（3~5 ページ）やシティドレッシング（6~7 ページ）などの関連事業の説明が行われた。質疑応答については次のとおり。

〈質問1〉資料4 ページにおいて、辻堂神台公園でセレブレーションを行うとあるが、どのようなことを行うのか。

〈回答1〉新型コロナウイルス感染症により、どこまでできるかはまだ未定だが、聖火リレーのスポンサー4 社や藤沢市の自治体などによるステージイベントを検討している。

（3）藤澤浮世絵間出張展示について

●藤沢市郷土歴史課の益田主査と片瀬公民館職員から、資料「浮世絵にみる江戸時代の江の島・藤沢」に沿って、7 月 17 日~23 日に片瀬公民館で実施される“片瀬・江の島浮世絵展”の概要の説明と、広報の協力のお願いがされた。質疑応答については次のとおり。

〈質問1〉“富嶽三十六景 相州江の島”は展示されるか。

〈回答1〉展示は行うが、模造の展示となる。なお、すべてが模造ではない。

4. 議題

（1）各部会からの報告

・人材・情報バンクセンター運営委員会

議事録(1~6 ページ)に沿って、事務局(磯崎)から報告がされた。その後、永由部会員から各地域団体に向けて、JJBC の活動で協力ができることがあればぜひお声がけいいただきたいというご意見があった。

・ボランティアセンター運営委員会

議事録(7~9 ページ)に沿って、澁谷(晴)部会長、事務局(吉岡)から報告がされた。

・郷土文化推進部会

議事録(10~11 ページ)に沿って、事務局(國松)から報告がされた。

・青少年健全育成部会

三觜部会長、事務局(関口)から第1回の部会が5月27日(木)に実施され、今年度の活動予定について、公民館事業等に参加される方などに対して、SNSなどを用いたアンケートを行い、子育て世代の保護者の声の収集を行うなど、コロナ禍における活動について協議したことや、昨年度の団体へのアンケート調査の結果などが報告された。議事録については、部会が全体会前日の27日に実施された関係で今回の資料としては無しとなっている。また、5月6日号回覧の「みんな おいでよ こどもらんど」のチラシについて紹介がされた。

（2）地区集会テーマ等について

●事務局(森井)から、第2回役員会での協議内容報告について次のとおり報告がされた。

・防災をテーマにした地区集会については、次の世代に繋いでいく必要があるこ

とから、3～4年に1回継続的に実施するべき。

- ・特に若い方を対象に参加していただきたいので、中学生などにも興味を持ってもらい、参加してもらうように呼び掛ける。

- ・辻堂地区自主防災協議会の小川会長（アジア防災センター室長）から講演を引き受けていただけることが確認できた。

- ・集会の流れについては、鎌倉市の津波シミュレーション映像を放映し、その後には講演会を行った後に、ディスカッション方式を取る方式を検討している。

- ・講演内容の詳細については未定のため、検討をしたい。

- ・開催の日程については、秋を検討しており、地域のイベントなどの兼ね合いを考慮した結果、11月3日（火・祝）、6日（土）、7日（日）あたりを候補としたい。ただし、6日は片瀬小学校で運動会を予定しているとのこと。

●事務局の説明後、委員による意見交換および質疑応答を行った。内容については次のとおり。

〈意見1〉神奈川県総合防災センターで津波についての学習をするための映像があり、内容の中で藤沢も多く出ている。これを当日の資料映像として利用してもいいのではないか。

〈意見2〉講演の内容を若い人向けにするという意見があるが、レベルを小学生まで下げると低くなってしまう。幅広い年齢層を対象にしてやるのは難しいのではないか。

〈意見3〉若い世代を対象というが、具体的に若い世代というのは、小中学生なのか、その保護者世代なのか。今一度対象について検討すべき。

〈意見4〉11月6日は小学校が運動会ということもあり、小学生だけでなく、保護者などの地域の住民も運動会に行ってしまう可能性があることから、地区集会の開催日としては避けるべき。

〈意見5〉若いうちから、災害のときにどうやって逃げるかということを知るべき。そういった意味では、小学校高学年や中学生を対象にすることが重要であり、学校を巻き込んで実施すべき。

〈意見6〉藤沢市で扱っている津波の映像について、小学生や中学生などに学校の授業などで見てもらって、そこから親世代に伝えてもらい、地区集会への参加を促すことにつなげるべきだと思う。

〈意見7〉藤沢市の津波DVDについては、片瀬地区内であればほとんどの人が見ていると思う。現に自治会の総会などで流しているという実績もある。そういった意味では、学校でも授業などで既にみているのではないか。

〈意見8：事務局補足〉意見7について、現在小学校では、4年生の社会の授業で災害についての勉強を行っており、教科書にも内容が記載されている。昨年度については、片瀬小学校の4年生に対して津波のDVDを視聴してもらい、災害について考えるという内容の授業を市民センターの防災担当職員が行った。来年度以降DVDの視聴については未定ではあるが、少なくとも小学校4年生でそういった勉強をしている。

〈意見9〉津波だけで考えると、片瀬地区内でも片瀬山は直接的に被害を受ける

わけではない。地区の中でも津波に対する考え方や対策はそれぞれなので、広く震災というテーマで講演をしてもらうべき。

〈意見 10〉例年、片瀬地区では自主防災協議会主催のもと、片瀬中学校との合同防災学習会という事業を行い、中学生に対して地域防災について考えてもらう機会を設けているが、学校側の意識が少し低下している感覚がある。だからこそ、学校の教師が生徒と一緒に、地域の防災について考えるという意識を改めて持ってもらう必要があると感じる。

4. その他

- ・金子部会員から毎年8月末に開催されている「諏訪神社例大祭」について、今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になったことが報告された。

- ・横田センター長から、片瀬小学校が今年度からコミュニティスクール（学校運営協議会）というもののモデルスクールになったことが報告された。コミュニティスクールを導入することで、一体的に進めていくということが始まっていくため、今後会議の内容などを共有していくことが報告された。

- ・横田センター長から、今年度の各地域団体の総会が終わったことの報告と、それに対するお礼が述べられた。また、まん延防止措置が6月20日まで延長になったことについて、市の会議が5月29日（土）に行われるため、必要に応じて情報提供を各団体に向けて行っていくことが報告された。

5. 閉会

以 上

令和3年度第3回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

2021年6月24日(木)

午後3時30分から5時15分まで
片瀬市民センター 地階第1談話室

《出席者》

- ・委員 16人(現在数20人)
(欠席) 4人(秋岡委員, 笹岡委員, 三觜委員, 依藤委員)
- ・事務局 7人

《当日資料一覧》

1. 令和3年度 第3回 片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 次第
2. 回覧チラシ(6/4, 6/18)

1. 開会

2. 会長あいさつ

畠山会長からごあいさつをいただいた。

3. 議題

(1) 各部会からの報告

・人材・情報バンクセンター運営委員会

議事録(1~6ページ)に沿って, 事務局(磯崎)から活動報告がされた。

・ボランティアセンター運営委員会

事務局(吉岡)から, “高齢者向けミニ講座”と“にこにこ栄養講座”の実施報告と, 7月7日(水)開催予定の“高齢者対象ミニ講座”の予約状況について報告がされた。なお, 議事録については, 第2回全体会以降, 部会がなかったため, 資料なし。また, 資料末頁の“片瀬ひだまり教室”の案について, 資料に沿って事務局と澁谷(晴)部会長から提案がされ, 質疑なく了承された。

・青少年健全育成部会

三觜部会長が欠席のため, 議事録(7~9ページ)に沿って, 事務局(関口)から第1回の部会報告について改めて説明がされた。

・郷土文化推進部会

議事録(10~11ページ)に沿って, 事務局(國松)から報告がされた。

・オリンピック・パラリンピック関連ワーキング

議事録(12~13ページ)に沿って, 澁谷(晴)座長と事務局(関口)から第1回のワーキングが行われ, イベント後のレガシーの継承方法などについて, 検討していることが報告された。

・片瀬公民館

地域回覧6月10日号の「藤澤浮世絵館出張展示 in 片瀬公民館のご案内」について, 現在46点の作品の展示に向けて進めていることと, 作品の一部がセンターで展示開始

されていることが事務局(後藤)から報告され、展示期間の観覧やイベントへの参加の呼びかけが行われた。また、6月25日号の「片瀬だより」について発行されたことが報告された。

・スポーツの会

阪井委員から、5月の“グラウンドゴルフ大会”の実施報告と、夏の“プール開放”及び“カップまつり”が中止になることが報告された。

・防犯協会

甘粕(勇)委員から5月、6月の地域安全キャンペーンについて、活動報告がされた。また、地域回覧6月25日号の「ひだまり片瀬 開館日程のお知らせ」について、告知がされた。

・社会福祉協議会

敬老会について、現時点では感染症の状況を踏まえながら、開催の方向であることが報告された。

(2) 地区集会テーマ等について

●事務局(森井)から、第1回地区集会について、資料の実施企画(案)に沿って現在の企画案について説明がされた。第2回全体会の時点では、講演後は参加者によるディスカッションを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、ディスカッションを行わず、片瀬地区自主防災協議会の中島会長に、片瀬の過去の災害についてお話をいただくという案になったことが報告された。今回の集会をきっかけに、次世代につなげるための意見の集約をする際の方法の検討(紙媒体のアンケートやネット媒体を用いたものなど)が今後必要であることが説明された。また、畠山会長から当日の上映する映像について、第2回全体会では“鎌倉市の津波シミュレーション映像”を放映する予定だったが、神奈川県総合防災センターの“災害 その時を生きるために(津波編)”という映像を放映することになったことが報告された。

●事務局の説明後、委員による意見交換および質疑応答を行った。内容については次のとおり。

〈質疑1〉地区集会の対象として、以前までの協議のなかで、小中学生という意見もあったが、対象をしぼらず幅広く“一般”というくくりで募集するべきか。

〈意見1〉募集要項の中に、小中学生も参加してもらえそうな一言を加えるのがいいのではないか。

〈意見2〉津波などの災害が起きた時に、知識をもっているだけでなく、実際に逃げるができるようになってもらうような内容を講師の方をお願いしたほうがいい。

〈意見3〉津波と一概に言っても、片瀬では想定される地震が複数種類あり、それぞれ津波の到達時間や高さが違うので、そういったものを大人も含めて知ってもらうような内容にするべき

〈意見4〉受付時に“津波ハザードマップ”を配布し、その資料に沿った内容の講演をしてもらって、実感をしてもらうべき。

〈意見5〉片瀬山環境委員会では、ホームページの中で、災害時の物品などの保

管場所や状況について記事が上がっているので、参考にしてほしい。

〈意見6〉集会当日が祝日ということもあるので、親子での参加を促すような告知をするべき。

〈意見7〉企画案の趣旨のところで“江の島”“片瀬”“片瀬山”という記載があり、片瀬海岸も“片瀬”という表記にまとめているが、“片瀬海岸”という表現で追加したほうがいい。

〈意見8〉企画案の内容・進行のところで「片瀬地区の過去の災害について」とあるが、非常に良いテーマで新しく片瀬に住んだ人は過去のことを知らないので、是非過去の災害の写真なども併せて話をしてほしい。

〈意見9〉細かい話にはなるが、“3.11”以降、橋の補強というものが進んでいるが、橋そのものではなく、その手前のところが液状化などの理由から段差になってしまうことで、車が通れなくなるということも発生しているケースがあるので、そういったことについても知っていることがあれば、内容に加えてほしい。

●最終的に今回出た要望なども含めて、引き続き講演の内容をまとめて、講師の方と相談を図っていくこととすることが事務局から報告された。

4. その他

- ・甘粕(勇)委員から、今年度の“江の島天王祭”の開催予定について質問があり、畠山会長から、神輿はないが、お囃子と縮小した形での式典が行われると報告がされた。

- ・横田市民センター長から、ボランティアセンター運営委員会からの報告内容にあった、“片瀬ひだまり教室”について、引き続き今後も報告をするということと、“公民館まつり”について、新型コロナウイルス感染症の変異株拡大状況や、市のワクチン接種業務の優先化などの理由から、今年度も実施を見送ることが報告された。また、片瀬山2丁目の自治会長が“片瀬山銀学校”というフレイル予防の活動の立ち上げを行っていることが報告され、他の自治町内会でも何かそういった事業の検討があれば、是非センターに相談してほしいと声掛けがされた。

- ・畠山会長から、オリンピック開催期間において、大型シャトルバスの運行が行われることと、それに伴い、神奈川県と神奈川県警察から、134号線沿いの市民に対して、バスの運行の同意をお願いしたことが報告された。バスについては、西浜から江の島まで1時間3本で無料で乗車できるものとなっている。

- ・会の最後に、事務局(森井主幹)から第4回役員会、全体会の日程について報告がされ、第4回の全体会の日程が変更になったことが併せて報告された。

5. 閉会

以 上

議 事 録

団 体 名		令和3年度 第4回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会報告書
開 催 日 時		2021 年 7 月 15 日 (木) 午後 3 時 30 分 から 午後 5 時 15 分 まで
開 催 場 所		片瀬市民センター ホール
出席者	委 員	16 人 (総数 20人)
		出席者： 畠山会長、澁谷(宏) 副会長、澁谷(晴) 副会長、三觜副会長、
		甘粕副会長、飯森委員、吉見委員、小川委員、甘粕委員、阪井委員、
		依藤委員、金子委員、笹岡委員、福島委員、桐生委員
	事務局	6 人 出席者： 横田センター長、森井主幹、関口上級主査、後藤、 国松、吉岡
報告事項		・2021年7月1日付人事異動の発令があり、磯崎担当が保健所地域保健課ワクチン接種担当に異動し、後任で関口が担当となることが報告された。 【各部会からの報告】 ①片瀬地区人材・情報バンクセンターについて(関口) ボランティア体験週間の実施に向け検討を進めており、11月13日にホールを確保。7月以降の運営員会において検討する。 ②ボランティアセンター運営委員会について(吉岡) ひだまり教室の申込状況について報告がされ、Aコース、Bコースそれぞれ申込があった。定員を超えたが協議の結果、全員を受講させることとなった。 また、当日はボランティアセンター運営員会、青少年健全育成部会からそれぞれ見守りとして従事をお願いする。今後の展開については、関係者の皆様のご意見をいただく中で検討していく。 ③郷土文化推進部会について(國松) ・片瀬こま保存会主催で7月4日にミニ大会が開催された。8月9日には市民センターホールで大会を開催する予定。 ・まち歩きマップについて、たたき台を作成し、写真の選定などを行った。今後は発注に向けて見積もりを取るなど準備を進めていく。 ④青少年健全育成部会について(関口) ・ボランティアセンター運営委員会から報告があったひだまり教室について、青少年健全育成部会としての意見交換を行った。 ・次回の部会では、PTA、保護者や青少年関係団体に対してアンケート調査を依頼しており、中間報告として挙げられた項目について協議していく予定。

報告事項	⑤オリパラワーキングについて（関口） オリンピック競技大会の県内会場は無観客での開催となることが決まり、都市ボランティアの報告など従事した方にふれあいまつりの代替え事業の際に報告について検討していたが再検討する必要が生じた。また、片瀬地区としてオリンピックの盛り上げとして、「片瀬・江の島まちづくり協議議会」の文言を入れたふじキュンのフォトパネルの作成を進めていることを報告した。 ⑥その他 ・片瀬一市民スポーツの会から今年度も体育・レクリエーション大会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止となったことが報告された。（阪井委員） ・敬老会については、予定通り9月14日から15日にかけてKKR向洋で開催する予定。ただし、市から中止要請があれば速やかに対応できる体制は整えている。（渋谷（晴）副会長） ・「浮世絵にみる江戸時代の江の島・藤沢」が7月17日から7月23日に開催されるのでぜひ来ていただきたい旨報告を行った。（後藤） ・毎年8月の初めの土日に開催される竜口寺の竹灯籠については、日程が変更となり、10月30、31日に延期となった（金子委員） ・市防犯交通安全課が主催する夏期江の島周辺夜間パトロールは、7月24日、8月7日のそれぞれ土曜日に規模を縮小して開催する（関口） ・片瀬海岸のごみ拾いについて今年度も行うことを報告。8月2日、10日、16日、23日の4日間で、午後5時30分から1時間程度行う。海岸ではなく、道路、駅周辺のごみを拾っていく。（後藤）
議 題	「地区集会について」 ・前回の全体会において話が出た神奈川県作成の津波避難に関する動画をPCからプロジェクターに投影して出席委員で確認した。（動画は12分から13分程度） ・定員について、当初80人を定員とすることで計画していたが、過日開催された「津波災害警戒区域に指定後の津波避難対策に関する説明会」では、約70名の参加があり、椅子のみ並べた状態でも密な状況となった。このことから、定員を見直し、会場内で密にならない人数として事務局からは50人位に絞りたいことを提案。また、ZOOM等のオンライン開催についても、著作権等の問題はあるが同時開催できないか検討していきたい旨事務局から説明した。 ・申し込み時点で事前に簡単なアンケートを取り、小川講師と内容の調整することで地区集会の内容を深めて、講演終了後、片瀬地区自主防災協議会の中島会長から片瀬地区内で起こった実際の災害について報告いただく中で防災に対する意識を深めていきたい旨説明を行った。
議題に対する 決定事項・意見等	・津波の動画については特に意見はなかった。 ・定員については、会場に来られる参加者が最低50人程度とする。 ・対面式に加え、オンラインでの参加ができるよう、準備を進める。 ・事前、事後にアンケートを取り、地区集会の内容を充実させる。

議題に対する 検討事項・意見等	・コロナ禍ではあるが、片瀬地区の住民にとって防災は最も大切な課題であることから、来館に加えオンライン参加もできるようにしたほうが良い。 ・講師の小川氏については政府の委員も務めるなど、防災については相当な知識を持っており、また、多数講演もこなしているもので内容や時間などについては柔軟に対応できるだろうとの意見があった。 ・市の防災担当者については、現在、打診はしていないが、内容については市の防災と直接かかわることから情報提供は行っていきたい。 ・防災に絡めて避難所運営の話になる可能性もある。
次回までの 確認事項	・片瀬地区自主防災協議会の中島会長に講演会での発表について依頼し、出演の了承を得る。 ・講師の小川氏に対して著作権保護の観点からオンライン開催について問題がないか確認する。 ・タイムスケジュールなど細かい点について内容をブラッシュアップしていく。 ・今後に向けて、講師の小川氏とは電話だけでしか話していないので、できるだけ早めに直接ご挨拶に伺う。
その他	・福祉関連について、片瀬地区内の個別支援、生活困窮者など、片瀬市民センターで第1、第3、第5水曜日午後1時から午後3時まで相談を受けていることを報告。また、第2、第4水曜日はひだまり片瀬で午後1時から午後3時まで行っている。片瀬山市民の家でも第3木曜日の午後1時から午後4時まで相談窓口を開設している。困ったことがあったら是非相談をしてほしい旨報告があった。（村上CSW） ・防災ナビの最新版が自宅に届かないようであればセンターで配布していることを伝えた。（横田センター長） ・11月に開催される津波訓練に向けての説明が8月28日に開催される予定であることを伝えた。（横田センター長）
次回会議 開催日時	2021 年 8 月 19 日（木） 午後 3 時 30 分から 午後 5 時 0 分 まで

令和３年度 第５回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会報告書

日 時 ２０２１年（令和３年）８月１９日（木）
午後３時３０分から午後４時３０分まで
場 所 片瀬市民センターホール
出席者 畠山会長、澁谷（宏）副会長、澁谷（晴）副会長、飯森委員、吉見委員、
小川委員、甘粕委員、阪井委員、村越委員、徳江委員、永由委員、
秋岡委員、依藤委員、金子委員、笹岡委員、福島委員、桐生委員
欠席者 三觜副会長、甘粕副会長、高野委員
事務局 横田センター長、森井主幹、関口上級主査、

１ 開会

森井主幹から会議開催にあたりあいさつを行い、本日配布されている会議資料の説明を行った。

２ 会長あいさつ

無観客の中開催されたオリンピックであったが、ＴＶを見る中でエネルギーをいただいた感じになり大会が開催されたことはよかったと思う。これからはパラリンピックも開催される。まちづくり協議会についても地区集会に向けて準備を進めていきたい。

３ 報告

事務局から、これまで部会報告として会議概要をまとめた議事録を資料として提出していたが、ページ数も多く、要点等が分かりにくいため、今回の会議から、議論の内容、課題などをまとめたものを資料として提出していくことを説明したので、資料を前もってご覧いただき各部会の検討内容について全体会で確認をお願いしたい。

（１）郷土文化推進部会（森井主幹）

８月１１日に部会が開催され、片瀬こま保存会の杉下さんにも参加いただき８月９日に開催された大会など活動状況の報告をいただいた。また、まち歩きマップの作成状況について、郷土歴史課にも確認していただきながら作成を進めており、来年早々には完成・配布をしていきたいと考えている。

（２）人材情報バンクセンター運営員会（関口）

７月２７日会議が開催され、地域団体の活動についてＨＰにアップロードしていくので積極的な情報提供の依頼があった。ボランティア月間を１１月中に開催することと、検討している内容について事務局たたき台のとおり説明し、詳

細については、8月31日に開催される運営員会で詳細を詰めていきたい。

(3) オリパラワーキンググループ（渋谷（晴））

前回から会議は開催されていないが、オリパラワーキングを締める意味でも大会に関する何らかの展示など機会があるようであれば適宜会議を開催する中で具体的な内容について検討を行っていく予定。

(4) 片瀬地区社会福祉協議会（渋谷（晴））

9月14日・15日に開催に向け準備を進めてきた敬老会については感染者も増えていることから中止の方向として、23日に周知していく。記念品や長寿のお祝い品については郵送等で送付するなど検討していきたい。

4 議題

(1) 地区集会について

森井主幹から説明を行い、新型コロナウイルス感染症拡大の状況もあることから、対面、オンライン両方の形式で参加できるように検討している。（感染症が拡大すれば役員のみホールで参加者はオンラインの可能性もある）

定員については、会場であれば50人上限、オンラインは参加人数に制限なく参加できる。また、手話通訳は障がい福祉課を通じてお願いしていきたいと考えている。

地震、津波だけでなく、風水害なども含めた内容の地区集会といたく、8月25日に講師の小川氏とごあいさつを兼ね地区集会の概要について説明していく。

当日の役員分担などについては、次回9月、10月の全体会でお示ししていきたい。

チラシについて、事前のアンケートはA3サイズ1枚に集約し、申込書の提出と一緒に出せるようにする。また、アンケートだけ提出を希望する方にも対応できるようにしていきたいのでHPなどの準備も行っていきたい。また、参加終了後に感想などのアンケートもとっていきたい。今後については、地区集会のアンケート結果を基に今後のまちづくり協議会の活動に向けて検討していければと考えている。

『質問・意見』

笹岡

・地区集会終了後のアンケートの内容について、家庭の備蓄について聞いてみてもよいのでは。また、避難するときはどういうものを用意しているのか。まちづくり協議会の全体として取り組んでもらいたい内容などがあれば記載したほうが良いとの意見があり、今後、検討していくこととなった。

・津波の映像が自助、公助、共助のテーマで終わっているから、この3点を入りに話してもらえればと思っている。阪神淡路大震災に携われているのであれ

ば実体験も話をしてもらいたい。

甘粕（勇）副会長

- ・オンラインでの参加は具体的な機器などが必要になるのか。オンライン参加ができない方がいるだろうから取りこぼしがないようにしてほしい。

→オンライン会議への参加についてはスマートフォンやPCが必要となる。という質問があり、参加希望者にはURLやパスワードなどの情報を提供することで参加ができる。事務局としてもオンライン会議への参加についてのサポートなどができればと考えている。コロナ禍により様々な会議においてオンライン開催も考えていかなければならないと認識している。

畠山会長

- ・オンライン会議の開催については教室みたいなものを開催していただければわかりやすいと思う。現在はサポートをしていただいている状況。

永由委員

- ・スマートフォンを持っている人であれば環境は整っているので、次回の全体会の場等において委員のみんなで練習してみてもよいと思う。また、オンライン開催で新たに参加していただける方も多いのではないかと感じている。

- ・若い世代の方が地区集会に参加することで地区の防災について学ぶことで、近所に住んでいるお年寄りに声を掛けられるようになればよいと思う。

森井主幹

- ・地区集会に向けてZOOMの接続テストなどを行ってみたい。

畠山会長

- ・地区集会までにはあと2か月あることから、気になる点などがあればご意見などいただきたい。

以 上

令和３年度 第６回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会報告書

日 時 ２０２１年（令和３年）９月１６日（木）
午後３時３０分から午後４時３０分まで
場 所 片瀬市民センター第１談話室（ＺＯＯＭ併用開催）
出席者 畠山会長、三觜副会長、甘粕副会長、吉見委員、村越委員、徳江委員、
小川委員、甘粕委員、阪井委員、秋岡委員、金子委員、高野委員、桐生
委員
オンライン参加 澁谷（宏）副会長、澁谷（晴）副会長、飯森委員、依藤委員、
永由委員、福島委員、
欠席者 笹岡委員
事務局 横田センター長、森井主幹、関口上級主査、

１ 開会

森井主幹から会議開催にあたり、あいさつと合わせて地区集会の開催に向けて対面式とオンライン会議を並行していることを報告し、本日配布されている会議資料の説明を行った。また、全体会終了後、オンライン会議の方法についてセンター内で研修を行うこと説明した。

２ 会長あいさつ

緊急事態宣言発令中の会議開催となったが参加いただいたことにお礼を申し上げた。

３ 報告

前回の全体会から部会報告については共通様式を用いて議事録の概要版を掲載していることを畠山会長から報告。補足事項について、各部会長等から報告していただくこととなった。

（１）郷土文化推進部会

部会議事録のとおりとなり補足説明事項なし。

（２）人材情報バンクセンター運営委員会

澁谷（宏）副会長から部会議事録の補足としてボランティア月間についての最終的な考え方を９月２８日（火）に開催されるＪＪＢＣ運営委員会でまとめていきたい旨、補足説明を行った。

（３）ボランティアセンター運営委員会

澁谷（晴）副会長から議事録の補足として、８月３１日のひだまり教室終了後にボランティアセンター運営委員会を開催し、結果報告と振り返りを行う中で、事業の性質上、大人数を受け入れることは難しいが、引き続き同規模で学習支援を継続したく、１０月から１２月の平日放課後週１回の開催に向け検討を行っていく旨、報告された。また、青少年健全育成部会の三觜副会長からも当該事業について、ボランティアセンター運営委員会と一緒に事業を行

っていることが報告された。

(4) 青少年健全育成部会

三觜副会長から補足説明があり、青少年健全育成部会意見交換会については、新型コロナウイルス感染症の動向が見えない状況ではあるが事業を実施する方向で今後検討していきたいと考えている。

(5) 郷土文化推進部会

甘粕副会長から補足説明があり、「まち歩きマップ」作成部数については、印刷に向けて内容を精査し見積もりを取ったところ値段が安くなったことから、当初700部印刷を予定していたが、印刷部数を増やす予定。

(6) オリパラワーキンググループ

渋谷(晴)副会長から補足説明があり、オリパラシティキャストを集めた事業を10月23日(土)の午後、江の島ヨットハーバー大会運営室が確保できたので、片瀬地区在住のシティキャスト同士の親睦交流の場を設け、その中で出た意見などを片瀬・江の島まちづくり協議会の中に取り込んでいきたいと考えている。内容は、シティキャスト同士がボランティアに参加した意気込みやボランティアに対する考えなどを伺う中で、まちづくり協議会との交流ができればと考えているので、まちづくり協議会の皆さんにも参加してもらいたい。

※関口から次回全体会の開催が10月28日開催となり、次回全体会では事業終了後の報告を行うこととなってしまうため、詳細が決まったらまちづくり協議会の皆さんにお知らせしていくこととなった。また、片瀬地区在住のシティキャストが50人程度いるが、全員が今後活動を継続していくことではないことを説明した。

(7) 片瀬地区社会福祉協議会

渋谷(晴)副会長から9月14日・15日に開催予定だった敬老会は中止となり、今月に入り参加申し込みされた方にお菓子等記念品、88歳の米寿、90歳の卒寿、99歳の白寿の方に記念品を送付した。

4 議題

(1) 地区集会について

森井主幹からチラシ配布のスケジュールについて、アンケート方法、ホームページの修正などに時間を要したことから10月5日の地域回覧で全戸配布することに変更したことを説明した。それ以外のスケジュール変更はなし。

畠山会長から地区集会当日の集合時刻、集会の開催から終了までの時間、企画内容について最終的な確認を行った。内容について、先日講師の小川氏と面談する中で、片瀬地区内の防災について自主防中島会長から講演をいただくことはよいことだろうということだった。また、話の中では避難できる場所をみんなが知っていることが大切であり、いざとなった時にすぐ対応できるように準備することが大切だとのことであつた。

今回の地区集会開催にあたっての当日の役割分担について出席者全員で確

認した結果次のとおりとなった。

役割分担について

- ・司会：澁谷（晴）副会長
- ・会長挨拶：畠山会長
- ・講演１（小川氏） 質疑応答：澁谷（晴）副会長、（サポート甘粕副会長）
- ・講演２（中島会長）質疑応答：澁谷（晴）副会長、（サポート甘粕副会長）
- ・まとめ：甘粕副会長
- ・閉会のことば・横田センター長
- ・受付：三觜副会長・村越委員
- ・誘導：飯森委員・福島委員
- ・会場設営：全員
- ・写真撮影：永由委員
- ・アンケート回収：回収ボックスを設置するため委員従事なし

5 その他

（１）澁谷（宏）副会長から、片瀬山市民の家たよりについて最新版を作成し 9 月 5 日地域回覧を行ったのでご覧いただきたいとのこと。たよりの中では、新コミュニティ拠点施設の進捗状況について、市の予算が付けば建築に向けて具体的に動き出すようになるだろう情報提供がされた。

（２）横田センター長から次の項目について情報提供がされた。

①大会終了後のオリパラのシティキャストの大会後の活用に向けて、ボランティア活動を支援するホームページが立ち上がる予定となり、8 割の方が何らかの活動にかかわっていきたいという意見があった。片瀬地区については先にボランティアに集まってもらうこととなる。

②これからやってくる台風シーズンに向け、避難に来られる際に、マスクの着用など各自で対策を取り予防策をしてほしい。

③東り町アートフェスについて、地域回覧をする予定となっているのでぜひ盛り上げてほしい

→金子委員からも地域として盛り上げていきたいと考えているのでぜひ足を運んでいただき、コミュニケーションを深めてもらいたい旨、周知した。

以 上

※全体会終了後、希望する委員で片瀬市民センター内のしおさいコーナーにおいて ZOOM の操作方法について体験を行った。

令和3年度 第7回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会報告書

日 時 2021年（令和3年）10月28日（木）

午後3時30分から午後4時30分まで

場 所 片瀬市民センターホール

出席者 畠山会長、三觜副会長、甘粕副会長、澁谷（宏）副会長、澁谷（晴）副会長、吉見委員、村越委員、甘粕委員、阪井委員、秋岡委員、金子委員、高野委員、桐生委員、飯森委員、永由委員、福島委員、笹岡委員

欠席者 依藤委員、小川委員、徳江委員

事務局 横田センター長、森井主幹、関口上級主査、

1 開会

森井主幹から会議開催にあたり、あいさつと合わせて地域回覧について、10月10号から藤沢市ホームページの片瀬市民センターのページに地域回覧の内容を掲載していることを報告した。また、このことについては、11月10日号の地域回覧で周知することが報告された。

2 会長あいさつ

全体会の開催にあたって、あいさつを行った。

3 報告

（1）各部会からの報告

部会報告については共通様式を用いて議事録の概要版を掲載しているので、各自確認していただき、ご意見等があれば事務局へ連絡をお願いした。また、補足事項があれば各委員からの発言をお願いした。

[事務局] 青少年健全育成部会について、子ども関係団体を集めた意見交換会を11月26日（金）午後開催を予定しており、参加団体に対しては後日依頼文を送付する予定であることを報告した。

補足[三觜副会長] 当日は、子ども関係団体以外にも地域で活動している個人にお声掛けをし、ご意見をいただきたいと考えている。

[甘粕副会長] 11月7日に津波避難訓練が実施されるので、委員の皆さんはぜひ訓練に参加してもらいたい。また、12月4日には片瀬地区総合防災訓練が開催される。

[村越委員] 11月21日に開催予定だった市の一日清掃デーが中止になったことが報告された。このことを受け、生活環境協議会としては、11月と12月の2か月間を、クリーンアップ期間として定め、自治町内会で様々な清掃活動をしてもらうよう依頼しているので協力してもらいたい。

[阪井委員] スポーツの会からは、地区レクリエーション大会をはじめとした各種事業が中止となっている。例年11月にはパークゴルフの事業があるが

中止としたため、11月23日に、企画会のメンバーでスポーツの会の新たな取り組みとして、ターゲットバードゴルフの実技研修を行う。ルールやホールの設定ができるようになれば、片瀬地区で普及していきたいと考えている。また、2月に開催を予定している卓球大会については、現時点で開催可否は未定。

[三觜副会長] 青少年育成協力会で10月20日に開催した潮の子フォーラムでは、片瀬中学校の内田校長先生を講師に招き、子ども達の様子やITを活用した授業、家庭との連絡などについて講演を行った。講演の中では、対面での話をすることの大切さについても話が合った。

また、11月13日には花いっぱい市民の会の花植え活動が行われるのでそちらにも参加してもらいたい。

(2) オリパラワーキング

[事務局] 10月23日に片瀬地区在住のオリパラシティキャストが15人集まった。開催された内容としては、ボランティアに参加しようとしたきっかけや今後の活動について1時間程度情報交換を行った。参加された方は皆さん喜んでいたことが報告された

補足[澁谷(晴) 副会長] 交流会では、片瀬地区の地域団体の活動などに参加されていない方もいて、地域の中で素晴らしい人材がたくさんいることを感じた。オリパラワーキングとしては事業終了後にまとめとして会議を開催し終了する予定である。今後、シティキャストの方とどのように繋がりを持つのかをまちづくり協議会として検討していく必要がある。

意見[笹岡委員] 参加された方皆さん前向きな方ばかりであった。話をした方で弁天橋の花植え活動にぜひ参加したいとのことだった。

4 議題

(1) 地区集会について

会議資料に当日の流れやレイアウトなどがあるので、各自確認してもらった。

福島委員が都合により地区集会を欠席することとなったので福島委員の代わりに桐生委員に誘導係をお願いすることとなった。

[事務局] 本日時点で会場25人、オンライン11人の36人が参加予定であり、申し込み締め切り後も参加希望者がいるので当日はもう少し増える予定であることが報告された。また、事前アンケートは25人からいただいた。アンケートの回答は後日発行されるまちづくり通信で事後アンケートも含め回答していきたい。

意見[澁谷(晴) 副会長] 司会の台本を事前に送付いただきたいのでご対応をお願いしたい。

意見[笹岡委員] アンケートについて、当日参加した際もしくは終了した際に提出するものと思っている方も多いのではないかと。「事前」という文言を入れておいたほうが参加者もわかりやすかったと思う。

意見[笹岡委員] 予定より早く講演が早く終了してしまった場合は質疑応答の時

間を増やすなどして対応したほうが良いと思う。
意見[澁谷（晴）副委員長]小川先生の講演の後の質問が特にないようであれば、
事前アンケートをピックアップしてみるのもよいと思う。

5 その他

[事務局]片瀬こま保存会から「片瀬こま作業工房見学ツアー」についての案内があり、参加を希望される方は、保存会杉下さんに連絡してもらうよう伝える。

以 上

令和3年度 第8回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会報告書

日 時 2021年(令和3年)10月25日(木) 午後4時から午後5時20分まで

場 所 片瀬市民センターホール

出席者 畠山会長、三觜副会長、甘粕副会長、澁谷(宏)副会長、澁谷(晴)副会長、
吉見委員、村越委員、甘粕委員、阪井委員、秋岡委員、金子委員、桐生委員、
飯森委員、福島委員、笹岡委員、小川委員、徳江委員

欠席者 永由委員、高野委員、依藤委員

事務局 横田センター長、森井主幹、関口上級主査、8回 片瀬・江の島まちづくり協

1 開会

森井主幹から開会について報告を行った。

2 会長あいさつ

畠山会長から会議開催にあたりあいさつを行った。特筆すべき事項は特になし。

3 報告

事務局から先日送付資料に加え、議事録、地域回覧、第2回地区集会に向けてのアンケート用紙を配布した旨説明した。

畠山会長からアンケートへの回答協力について依頼があった。

(1) 各部会からの報告事項について

①JJBC運営委員会

澁谷(宏)副会長から報告。ボランティア見学、体験会に向けた進捗状況について報告を行った。詳細は11月26日に運営委員会において具体的な内容について協議していくことが報告された。

質問[甘粕委員]防犯協会への協力依頼は参加者、協力団体両方なのか。

回答[澁谷(宏)副会長]団体として事業・参加それぞれの協力をお願いしたい。

補足[森井主幹]今後は地域回覧などで周知を行っていく予定。ご協力いただける団体があればぜひお願いしたい旨説明した。

質問[笹岡委員] ボランティアに参加したい方を探すことが目的なのか。

回答[澁谷(宏)副会長] 参加したいだけでなく、人材の掘り起こしを行い、次世代につないでいきたい。また、マッチングは難しいと思うが、今回の結果を受けて次年度以降取り組んでいければよいと考えている。

②郷土文化推進部会

甘粕副会長から議事録記載の通りであることが報告された。また発行部数については、予算に余裕があり、2サイズで作成していく予定。その他、まち歩きに必要な

る公衆トイレ等のポイントを落としていきたい。配布先については、部数にも限りがあることから学校への配布などはできない。市民センターに置いていく予定。

また、郷土文化推進部会の次年度以降については、まだ具体的な方針がでていないことから、今後検討していきたいことが報告された。

③青少年健全育成部会

三觜副会長 11月26日の意見交換会に向けて当日のスケジュール、役割分担について検討を行った。地区集会など子育て世代の方の参加者が少なかったので、今後、参加しやすいようになればと思っている。

また、ひだまり教室については2月20日まで開催する予定。引き続き事業への協力についてお願いしたい。

④オリパラ関連ワーキング

11月17日にワーキングが開催された。オリパラ準備室、シティキャストの秋山さん、犬山さんにも参加いただき、感想と振り返りを行った。片瀬地区在住 52 名中 15 名の参加となった。アンケートではもう一度交流会を開催したいとのことだったが、ワーキングとしては行わない予定。今後は、センター、オリパラ準備室と検討していく。

また、ボランティアの方は意欲的な方が多いことから、まちづくり協議会との関りについて今後検討していく必要があると考えている。

(2) 各団体からの報告

①自主防災協議会

甘粕副会長から、片瀬地区総合防災訓練が12月4日に開催されることが報告された。昨年度は雨中開催となったこともあり、本年度、雨の場合は中止していきたい。

②江の島防災対策協議会

秋岡委員から江の島防災対策協議会について報告があり、本日、会合があり、詳細が決定するので後日まちづくり協議会で報告していきたいとのこと。

③片瀬地区社会福祉協議会

澁谷(晴)副会長から12月12日にセンターのホールで人生会議を開催する。テーマについては、終活についてミニ講習会などが開催される。年齢制限は特にないのでぜひ参加をお願いしたい。

④青少年育成協力会

三觜副会長から八ヶ岳自然体験教室が来年2月に開催されることが報告された。

⑤防犯協会

甘粕委員からこども110番の案内板の色が消えてしまっているのを竜の口と片瀬山5丁目でそれぞれ張替え作業を行ったことが報告された

(3) 地区交流会について

畠山会長から11月18日にリモートで開催された市地区交流会について報告された。詳細は3ページ以降を確認してもらいたい。

4 議題

(1) 第1回地区集会を終えて

地区集会の感想は事前に各委員に対して用紙を配布しており、本日の会議終了時点で事務局が回収する。

意見[甘粕委員]26ページの質問について、講演に関するもの以外の質問が見られた。

意見[澁谷(晴)副会長]小川先生が片瀬地区のまちづくり協議会内に防災部会がないとの話があり、参加している方もそう思っている人もいると感じている。まちづくり通信などを通じて回答していく必要があると感じた。

質問[三觜副会長]自主防災協議会はどのように考えているのか。

回答[甘粕副会長]自主防災協議会として、各自治町内会に防災部長がいて、本来、自治町内会ごとに自主防災組織がなければならないと考えている。

しかし、役員も多くないことから、組織できないのが現状。

まず、どの自治町内会も役員をやりたいと思っている人がいないため組織できないのが現状。

以前は総合防災訓練も多くの人が集まっていたが、現在は津波避難訓練も含め参加者が減ってきており、年々、防災に対する意識が薄ってきていると感じている。この状況を打破するためのアイデアがあれば教えてほしい。

質問[笹岡委員]地区集会を契機に防災に対して前向きに進んでいくことはできると考えている。辻堂地区のまちづくり協議会の中には防災の部会はあるのか。

回答[澁谷(晴)副会長]辻堂地区にはまちづくり協議会の中で防災に関する組織がある。

意見[畠山会長]今回の地区集会では自主防災協議会中島会長に講師として来ていただいた。まちづくり協議会と自主防災協議会が連携して防災について協力して取り組んでいくことが必要であると考えている。

意見[澁谷(晴)副会長]今回、講師からメッセージを受けたことでまちづくり協議会としても片瀬地区の住民にアピールしていく必要がある。

意見[畠山会長]まちづくり協議会で防災部会を設置するとなると、部会が多くなりすぎてしまうことが懸念される。自主防災協議会は各自治町内会の防災部長となっているが、広く地域住民に活動が浸透していないと思っている。

(2) 第2回地区集会について

畠山会長から第2回のテーマについて、この2年の任期の中でこれまで行ってきたことを総括として総括していきたいとの説明があった。また、第2部では何をテーマとするか、東京2020オリンピックも終了したことから、皆さんかのご意見をいただきたい。

意見[笹岡委員]シティキャスト交流会に参加して話を伺う中で皆さん積極的に取り組んでいる方が多かった。

第2回の地区集会では、シティキャストとつながるために何かテーマを決めて、シティキャストの皆さんに出席してもらい藤沢の未来について発表してもらうことはどうか。

回答[畠山会長]シティキャストの方と連携するために、まちづくり協議会としてテーマを決めていくことも必要であると考えているが、予算に限りもあることから、有効性などを十分検討する必要があると感じている。皆さんの意見については、30日が締め切りとなっているのでご意見をいただいた中で次回の全体会において検討していきたい。

補足[事務局]2月23日が第2回地区集会となることから、時間的な余裕もあまりないため、12月1日の役員会で速やかに協議を行いたいため、できるだけアンケートに協力いただきたいことを依頼した。また、内容は役員会を通じて、全体会でお知らせしていきたい旨説明を行った。

次回全体会

日時:2021年(令和3年)12月15日(木) 午後3時30分 から

場所:片瀬市民センター ホール

以上

令和３年度 第９回片瀬・江の島まちづくり協議会議事録

日 時 ２０２１年（令和３年）１２月１６日（木）

午後３時３０分から午後５時１５分

場 所 片瀬市民センターホール

出席者 畠山会長、三觜副会長、甘粕副会長、澁谷（宏）副会長、
澁谷（晴）副会長、村越委員、甘粕委員、永由委員、高野委員、
依藤委員、金子委員、桐生委員、飯森委員、福島委員、笹岡委員、
小川委員、徳江委員

欠席者 吉見委員、阪井委員、秋岡委員

事務局 横田センター長、森井主幹、関口

１ 開会

森井主幹から会議開催にあたり、当日の追加資料の説明を行った。

２ あいさつ

畠山会長からあいさつを行った。特記事項は特になし。

３ 報告

（１）各部会からの報告

①片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会

澁谷（宏）副会長から１２月１５日に運営委員会が開催され、別紙チラシ（案）を基に、地域活動見学＆ボランティア体験会について、１月にチラシを全戸配布することを説明した。また、現時点でチラシ裏面に記載されている活動の見学、体験ができる予定だが、状況により縮小して開催する可能性もあることが報告された。

②ボランティアセンター運営委員会

澁谷（晴）副会長から、１２月８日に特殊詐欺に関するミニ講座、１２月１６日にクリスマス会が開催されたことが報告された。また、来年１月１２日には、元片瀬市民センター長の小野氏を招き、「人生会議」をミニ講座として開催することが報告された。

③青少年健全育成部会

三觜副会長から１１月２６日に意見交換会が開催され、コロナ化の中での事業展開について意見交換を行ったことが報告された。意見交換会では、時間に限りがある中、それぞれの団体から課題は出されたが、今後の活動につなげていくための具体的な解決策の協議は時間がなくできなかった。各団体からの意

見については集約を行い、議事録として関係団体にまとめて報告し、情報共有を行う予定である。

④オリパラワーキング

添付資料のとおり。

⑤郷土文化推進部会

添付資料のとおり。12月17日に部会が開催される。

(2) 各団体からの報告

①商店会

金子委員から、デジタル商品券が12月1日から発売されていることが報告された。今回は電子クーポンのみとなっており、高齢者は使用しづらい状況であることが報告された。

②社会福祉協議会

澁谷（晴）副会長から、今回のデジタル商品券の発行を受け、生活支援部会において配達をしてくれるお店の情報を地域回覧にて周知する予定であることが報告された。

③生活環境協議会

村越委員から、1月15日生活環境協議会の事業として、海洋プラスチックについての映画を上映する予定。もっと海のことについて知ってもらいたいと考えているとのこと。

④自主防災協議会

甘粕副会長から、12月4日に防災訓練が晴天の中4年ぶりに開催されたことが報告された。

4 議題

(1) 第1回地区集会アンケートの結果について

森井主幹から、資料2を基にアンケートの集計結果について報告がされた。また、資料の一部に誤字があったことから、その場で訂正を行った。

委員の皆さんからは、全体的にはとても良い全体集会であったとのことだが、質疑応答の時間が少なかったので、時間を増やした方がよかったのでは。との意見が出された。

参加者から頂いた質問や回答等は、第2回地区集会や年度末に発行を予定しているまちづくり通信の中で触れていきたい旨、説明を行った。

意見[畠山会長]防災については今回の地区集会で終わりではない。いつ来るかわからないことから継承し、防災への対策に取り組んでいく必要がある。

(2) 第2回地区集会について

森井主幹から、先日全体会で委員から寄せられたアンケート結果を基に、役員会で検討した結果を、資料3の実施企画(案)としてまとめたことを説明した。

また、畠山会長から、第2回全体会まで期間が短いことから、今回の全体会で内容を決定する必要があることが報告された。進め方については2部制をとり、

①今期の片瀬・江の島まちづくり協議会の活動の総括及び報告

②片瀬地区の昔を知り、今後の片瀬地区を考えていく

以上の2点で地区集会を開催したいとの説明があった。

補足[横田センター長]今回の地区集会のテーマ②では講義形式ではなく、座団会の形式をとり、地元の皆さんの話をもっと掘り下げ、片瀬地区の魅力を発信することができればよいと考えている。

意見・質問[佐々岡委員]地区集会で片瀬地区の昔のことを紹介し、今住んでいる皆さんに聞いていただくことは大切であると感じている。また、昭和23年から昭和38年までとした理由はあるのか。

回答[澁谷(晴) 副会長]昭和23年としたのはこの世代が多いから設定した。また、当時、片瀬地区は、江の島は漁業、片瀬は農業が中心となっていた。昔の子ども達の遊びなど、今の子ども達にも知ってもらいたい。まち歩きマップの発行が間に合えば、一緒に紹介していければと考えている。

意見[福島委員]企画書では昭和23年からとなっているが、片瀬町が藤沢市に編入されたのが昭和22年になるので、藤沢市になってからの片瀬の話が聞ければ良いのではないか。

意見[甘粕副会長]まち歩きマップについては、歴史上の史跡などが主に掲載されているので、今回の地区集会のテーマとは主旨が異なってしまう。

意見[高野委員]まち歩きマップの主旨と地区集会のテーマが異なってしまう状況ではあるが、PRも兼ねて完成したばかりのまち歩きマップのお披露目ということで参加者に配布することも良い。

意見[佐々岡委員]文書館にあるデジタルライブラリーの写真と現在の写真を対比させて今昔映像が用意できればとても魅力のある地区集会になる。

補足[澁谷(宏) 副会長]知り合いが江の島の写真などを文書館に寄贈しているので、ぜひ活用していただきたい。

意見[三觜副会長]今回の地区集会を通じて参加者に対してどのようなメッセージをまちづくり協議会から発信していくのかをもっと明確にするべきである。

意見[澁谷(晴) 副会長]片瀬に移り住んだ方に対して片瀬の昔を知ってもらい、より片瀬を愛してほしい。というところまでは役員会の中で検討した。親子

で片瀬の庶民の生活を知ってもらえればよいのではないか。

意見[佐々岡委員]片瀬地区のこれからについては、まちづくり協議会としての課題となるが、今回の地区集会において、片瀬地区の今昔を観てもらい、知ってもらうことで片瀬地区にもっと興味を持つことが大切であると考えている。これからの課題解決に向けては、どこかのタイミングで地区集会のテーマとして地域住民も含め考えていくことでよいのではないか。

意見[澁谷（晴）副会長]手法については、昔の写真を出して、ファシリテーターを配置し、当時のいろいろな話をみんなに振ってもらうのはどうか。思い出話を聞くだけでもいいと思っている。いずれ思い出話も聞くことができなくなってしまうことを考えれば、このタイミングで開催する価値があると考えている。

意見[永由委員]今昔を観て感じることは個人それぞれで異なる。各々が自分の中で考えてもらえればよい。今回の地区集会を通じて、片瀬地区に興味を持ってもらい、まちづくり協議会の活動に参加してくれればよいと考えている。

意見[徳江委員]今回の地区集会では、これまでの活動のまとめを行う必要がある。このため、これからの片瀬について考えてしまうととても時間が足りない。このため、今回は片瀬のことをもっと知ってもらうという企画でよいと思う。

意見[畠山会長]昔の写真を見ながら話し合うことで理解も深まると思う。本来であれば45分では足りないと思うが、時間も限られている。

意見[徳江委員]今回の地区集会のメインテーマは、まちづくり協議会の2年間の活動の総括であると考えているので、これまでの活動報告はしていく必要がある。

（3）令和4年度まちづくり協議会委員改選について

森井主幹から資料4のとおり役員改選に向けてのスケジュール等の説明を行った。

（4）その他

森井主幹から次の2点について説明を行った。

①部会活動の総括について、当日配布資料を基に説明。委員の皆さんに今後部会として活動を継続するか検討を依頼した。

②フードドライブについて、12月からセンターでも箱を用意し、受付するようになったので、協力を依頼した。

横田センター長から、10月23日に開催されたシティキャスト交流会を受け、オリパラ準備室では12月11日にサンクスイベントが開催されたことが報告された。また、片瀬地区で、2回目となる地域とシティキャストをつなげる交流会を2月6日に行う予定であるので、ぜひ協力を頂きたい旨、報告した。

次回全体会

日時：２０２２年（令和４年）１月２０日（木）午後３時３０分から

場所：片瀬市民センター 第１談話室

以 上

令和3年度 第10回片瀬・江の島まちづくり協議会議事録

日 時 2022年（令和4年）1月20日（木）

午後3時30分から午後5時15分まで

場 所 片瀬市民センターホール

出席者 畠山会長、三觜副会長、甘粕副会長、澁谷（宏）副会長、
澁谷（晴）副会長、村越委員、甘粕委員、永由委員、吉見委員、
阪井委員、金子委員、桐生委員、飯森委員、福島委員、笹岡委員、
小川委員、徳江委員

欠席者 高野委員、秋岡委員、依藤委員、

事務局 横田センター長、森井主幹、関口

1 開会

（1）横田センター長から1月に職員の人事異動により梅澤課長補佐、下間主査が片瀬市民センターに配属されたことが報告された。

（2）新型コロナウイルス感染症拡大に伴うまん延防止等特別措置について、神奈川県の方針が示され1月21日から2月13日までが期間となることが報告された。市民センター・公民館については施設の利用制限はかけず、これまで行っている感染症対策をとる中で開館していくことが報告された。

なお、各種事業について、中止・延期できない事業は感染症対策を取り開催、会議についても同様の方針とし、規模縮小やオンライン開催などの対応を行っていくことが方向された。

2 あいさつ

畠山会長からあいさつを行った。新型コロナウイルス感染症拡大しているが、地区集会開催に向けて会議を開催していきたい。

3 報告

（1）各部会からの報告

①片瀬地区人材・情報バンクセンター運営委員会

澁谷（宏）副会長から、2月に開催される地域活動見学&ボランティア体験会の進捗状況について報告。新型コロナウイルス感染症は拡大しているが、受け入れ団体側からの中止の意思表示がなければ感染症対策を行い予定どおり実行していきたい。

②郷土文化推進部会

甘粕副会長から、1月19日に部会を開催し、マップの修正等、最終確認を行った。2月に完成を予定している。なお、マップの配布方法は今後検討していく。

③青少年健全育成部会

三觜副会長から、青少年健全育成部会について、前回会議以降部会は開催されていない。現時点では、先日開催した意見交換会のアンケートの回答を、参加団体に依頼している。今後は、アンケートの回収・集計作業を行い、後日開催する部会で結果の確認を行い、次年度の事業の参考としていきたい。

また、片子連が主催するドッチビー大会を3月24日に開催する予定。周知チラシをその場で配布した。

④ボランティアセンター運営委員会

澁谷(晴)副会長から、ボランティアセンター運営委員会は開催していない。今後の事業については、ツボやスマホ教室を開催する予定となっており、感染症対策を取りながら事業を行っていききたい。

にこにこ広場のひだまり片瀬は今年1月から予約不要に戻したが、このような状況となっている中で対策を取り行っていきたい。

(2) 各団体からの報告

①片瀬一市民スポーツの会

阪井委員から、3月19日に片瀬しおさいセンター体育室で卓球大会を開催する予定。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から事業を中止とする場合もある。実施する場合の募集は改めてお知らせしていく予定。

②片瀬地区社会福祉協議会

澁谷(晴)副会長から、1月27日に片瀬小学校の3年生に予定していた片瀬の昔の話の事業については、前年度と同様、感染が広がっていることから中止したことが報告された。

③片瀬地区自主防災協議会

畠山会長から2月4日に江の島津波対策訓練を行う予定だったが、感染が拡大していることから中止となったことが報告された。

4 議題

(1) 第2回地区集会について

事務局から地区集会に向けて前回からの変更点について説明を行った。

第2部の講演会の内容について、前回の全体会では語り部から話を聞いて片瀬地区を知ろうということだったが、役員会で検討した結果、例年であれば片瀬・江の島地区で開催されている様々なお祭りがコロナの影響により中止とな

っていることから、3大祭りについて話をする事で地域を知ってもらい、まちづくりの役立つだろうとの意見があり、内容が変更となっている。

前回の全体会の内容と異なることから、役員会後の内容について検討していただくとともに、コロナの感染が拡大していることから、中止、時間短縮など地区集会の実施方法についても併せて協議いただき、決定した内容を基に講師の派遣依頼などを行っていききたい。

補足[畠山会長]感染症が拡大している中だが地区集会を開催する前提で話を進めていきたい。内容については、役員会で検討した結果、片瀬・江の島地区の3大祭りとなる江の島の天王祭、諏訪神社の例大祭、龍口寺の法難会について、講師はまだ決まっていないが、皆さんが良ければ、講師を依頼していきたい。

意見[笹岡委員]どういう理由で祭りを行っているか。その起源はわからないので、深く掘り下げていただければよい。

意見[渋谷(晴) 副会長]まつりの起源についてもっと知ること、片瀬を愛してもらえることにもなることから、よい機会であると思う。

意見[畠山会長]お祭りの本質となれば、江の島と諏訪神社は相原宮司、龍口寺は林氏にお願いするようになる。時間は限られてしまっていることから、30分ずつだけしか話をしてもらうことしかできない。

また、第1部では、まちづくり協議会の2年間の活動の報告もしなければならない。各部会の報告もしなければならないと感じている。

意見[徳江委員]地区集会の第1部ではまちづくり協議会としての全体の活動報告に合わせ、各部会の活動報告も必要だと思う。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるまん延防止等特別措置が延長される可能性が高いことから、感染状況により時間短縮なども検討したほうが良い。

なお、第2部の講演については、地区集会の日程が祝日となることから、神社、お寺に講師を依頼する場合は対応が可能なのか確認するべき。

意見[金子委員]例大祭の取り仕切りは五町の岩田氏が委員長となっているので聞いてみる。

意見[畠山会長]必ずしも宮司でなくてもよい。お囃子など具体的な内容に触れるのであれば祭典委員会の方に講師をお願いしたほうが良いと思う。

意見[村越委員]お祭りの起源に触れるのであれば宮司など、お祭の行事の内容であれば祭典委員に聞いたほうが良いと思う。

意見[甘粕副会長]本来であれば宮司や住職が良いと思うが、ガイドクラブの方も片瀬地区のことを研究しており、よく知っていることからガイドクラブ

の方に地区集会の講師をお願いしてもよいのではないかな。

意見[徳江委員]片瀬・江の島地区の3大祭りを1時間の短い時間で話してもらうことについて、失礼にならないのか心配。お祭りについて話をしてもらうのであれば神社、お寺のことをよく知っている方をお願いすべき。どのような方向にもっていくかを決めないといけない。チラシの名称についても正しい名前を記載しなければいけないと思う。

意見[笹岡委員]3大祭りの表記については、明確な基準がわかってないと記載しないほうがよい。また、表面の通信環境について、Wi-Fiの記載があるが、有線の環境の場合もあるのでLANも追記したほうが良いのでは。

確認[畠山会長]地区集会当日までの時間の都合もあることから、第2部の取扱いを本日の全体会で最終的な方針を決めていきたい。

意見[徳江会長]講演は、お祭りのことについて聞いてもらうのか、それとも、起源について聞くのか。方針を決めなければ話が進まなくなってしまう。

意見[渋谷(晴) 副会長]大河ドラマも1月から始まっていることから、なかなか聞くことができないお祭りの起源についてテーマとしてはどうか。

意見[徳江委員]時間もないことから、講師については、まず起源について話ができる方に依頼してみて、講師が難しいようなら、次の候補に当たるほうが良いのではないかな。

質問[笹岡委員]龍口寺の法難はお祭りなのか。お祭りでないのであればやめたほうが良いのではないかな。

回答[甘粕副会長]龍口寺の法難はお祭りではないだろうが、地域の皆さんに聞けばお祭だという判断をすると思う。

意見[徳江委員]龍口寺の法難では、屋台なども出ることから、一般の方にとってはお祭りというイメージがついていると思うので、含めないと疑問に思ってしまう。

意見[渋谷(宏) 副会長]コロナの感染の動向がわからないがまちづくり協議会としての活動の報告もあるので、地区集会はやるべきである。開催方法は、このような状況であることから、オンライン主として開催していく。講師は一般受けするガイドクラブの方に講師を依頼するほうが良い。

意見[永由委員]一般の方を対象としていることから、一般的な質問があった場合もガイドクラブの方のほうが回答していただけると思う。

結論[畠山会長]今回の地区集会の第2部の講演についてはガイドクラブの方に依頼を行っていく方向となった。

意見[横田センター長]ガイドクラブに話をする中で、まちづくり協議会として取り上げたい主旨等を伝えた結果、ガイドクラブで受けるのが難しいとの見解になった場合、宮司などにアプローチをできるようにしたほうが良い。

まとめ

- ・地区集会は開催する（新型コロナウイルスの感染状況により、オンラインのみでの開催についても検討していく）
- ・第1部の活動報告は、全体の説明は委員の中から1人、部会報告は各部会長がそれぞれ発表する。
- ・第2部のテーマについては、「地域の祭り天王祭、例大祭、法難会を通じてもっと知ろう」とする
- ・全戸配布用のチラシには、2月10日号で配布し周知する。
- ・全体の司会進行は笹岡さんをお願いする
- ・次回の全体会までに部会報告の資料を作成し、委員に確認してもらう。

（2）令和4年度まちづくり協議会委員の改選について

事務局から資料3をもとに全戸配布で周知を行ったことを報告。また、団体推薦についても同様に1月末頃に関係団体へ依頼することが説明された。

次回の役員会、全体会は次のとおり開催する。

第11回役員会 2月3日（木）午後3時30分から 第2談話室

全体会 2月17日（木） 午後3時30分から 第1談話室

令和3年度 第11回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

日 時 2022年（令和4年）2月17日（木）

午後3時30分から午後5時10分まで

場 所 片瀬市民センター 第1談話室

出 席

（委 員） 畠山会長、三觜副会長、甘粕副会長、澁谷（宏）副会長、
澁谷（晴）副会長、村越委員、甘粕委員、永由委員、吉見委員、
高野委員、阪井委員、徳江委員、桐生委員、飯森委員、笹岡委員、
小川委員

（欠席者） 福島委員、依藤委員、金子委員

（事務局） 横田センター長、森井主幹、関口

（その他） 地域共生社会推進室 榎澤

藤沢市社会福祉協議会 小野常務、村上CSW

1 開会

森井主幹から当日配布資料について確認

2 あいさつ

畠山会長から全体会開催に向けてのあいさつを行った。

3 報告

（1）各部会からの報告

①ボランティアセンター運営委員会

澁谷（晴）副会長から、3月の全体会で改めてお知らせするが、これまで、木曜日午前中にボランティアセンターで行っていたにこにこ広場が、4月から水曜日午前中に片瀬公民館で行われるようになることが報告された。また、木曜日午前中についても引き続き、ボラセンティアセンターで相談業務を行うことが報告された。

②人材・情報バンクセンター運営委員会

澁谷（宏）副会長 から、地域活動見学&ボランティア体験会が2月10日から始まった。弁天橋の草取り活動に3名が参加された。新型コロナウイルス感染症拡大の状況もあるので、できる範囲で最終日の月末まで行っていきたい。

③青少年健全育成部会

三觜副会長から、1月24日に部会が開催され、アンケート調査の結果を

基に意見交換が行われ、防災についての内容が話に上がった。部会員が少ないことから、事業実施にあたっては、公民館担当とも連携・協力しながら事業を進めていきたいことが報告された。

④郷土文化推進部会

2月15日に部会を開催する予定だったが、片瀬歴史マップが完成していないことと、新型コロナウイルス感染症が拡大していることから見送ったことが報告された。

(2) 各団体からの報告

①片瀬一市民スポーツの会

阪井委員から、3月19日に開催する予定だった卓球大会について、新型コロナウイルス感染症拡大により中止としたことが報告された。

②青少年育成協力会

三觜副会長から、2月25日に片瀬学園主催で青少年育成協議会が協力している「子育て講演会」が開催されることが周知された。

4 議題

(1) 第2回地区集会について

畠山会長から、資料1を基に、第2部講演の講師をお願いしている江の島・藤沢ガイドクラブの鈴木氏と当日に向けて調整を行ったことが報告された。

また、第1部のまちづくり協議会2年間の活動報告について、各部会長から報告をいただき総括していきたいことから、地区集会開催当日に向け一連の流れについて最終確認を行っていききたい旨、説明があった。

地区集会の当日に向けての最終確認について、森井主幹から事前送付の資料1と、当日配布のスライド資料等を基に、当日を迎えていきたいことが報告され、現在の進捗状況の確認と未決定事項の調整を行った。

・実施企画（案） 変更なし

・スライド 現在作成中のため、地区集会当日に配布する。

・レイアウト 当日配布資料にはないが、前回の全体集会と同様。

・進行台本 現在作成中のため、当日に向けて内容を詰め、配布する。

・申込状況 2月17日時点でオンライン3人、会場6人の合計9人。
前回と同様、定員に余裕があることから、申込み締切り後も当日も受け入れすることが報告された。

・部会報告 発表者が前に出ていただき、発表3分、入替2分の計5分で報告をお願いしたい。

・係分担 受付係：三觜副会長、村越委員。写真係：永由委員。
※誘導係は会場内に委員がいることから配置しない。

- ・全体報告 未定だったが、協議の結果、畠山会長が報告を行う・
- ・資料配布 前回と同様、アンケートも含めバインダーに資料を挟み椅子の上に置き回収箱に各自入れてもらう。
- ・役員集合 会場設営でのぼり旗の設置作業もあることから正午にホール集合する。
- ・閉会 講演終了後、質疑を受けたのち、センター長からあいさつをいただき、午後3時30分終了とする予定。
- ・質疑応答 前回のようにタイムテーブル優先で途中で打ち切りとせず、多少であれば延長して対応する。

第2部に講師をお願いしている鈴木氏は第1部から出席いただくこととなっている。鈴木氏からは、2017年に自治連だよりに記事が掲載されており、その記事に掲載された内容を中心に講演を行うこととなることが報告された。

意見[笹岡委員]第2部講演の際に、参加者がもっと興味を持ってもらえるよう、映像を上映したほうが良いのではないか。今年度、観光協会がジェイコムに発注し作成した江の島で行われる祭りのDVDの上映について、製作者の許可が得られ、講演で講師の鈴木氏が話す内容と合致してれば上映してみてもどうか。

回答[森井主幹]講師の鈴木氏とは、映像上映がない状態で40分間の講演をお願いしている。

意見[徳江委員]映像は江の島の天王祭以外に諏訪神社の例大祭、龍口寺の法難も紹介されていけば上映して良いのでは。

意見[甘粕副会長]竹灯籠はジェイコムが撮影されていた。

回答[森井主幹] 講師の鈴木氏の調整の中で、他の写真などを使用すると許可の関係が大変なので、手持ち資料を活用して講演をしていきたいとのこと。

意見[澁谷(晴) 副会長]地区集会開始前や休憩時間にDVDを放映することはできるのか。

意見[永由委員]上映するかどうかは、講師の鈴木さんの判断次第なので、鈴木さんに確認を取って上映するか決めてはどうか。

回答[森井主幹]講師の鈴木氏に確認をとってみたい。

意見[永由委員]人数も少ないことから、参加者に事前に質問を取ったほうが質問者にとってはより具体的な回答が得られるのではないか。

意見[三觜委員]新型コロナウイルス感染症に対するまん延防止等重点措置期間中のため、ホールへの滞在時間をできる限り短くしたほうが良いのではないか。

回答[森井主幹]しっかり感染症対策を取った上、地区集会を開催していく。前回

の地区集会では時間短縮を図るため、質疑応答の時間を5分とした。
意見[徳江委員]会場内で回答ができない質問は、まちづくり通信で回答していくこととなるのではないか。
→第2回地区集会にあたり、事前の質問は受けず、会場内で回答し、回答が困難な質問は、まちづくり通信などで報告することとなった。

(2) その他

①澁谷(宏)副会長から、市民自治推進課が市民の家の有効活用を目的とした広報番組として、片瀬山市民の家の紹介が市広報番組で行われ、出席すること。

先日、片瀬山市民の家に導入されたりモートルロックのPRを行うことが報告された。

②森井主幹から、12月全体会の中説明した各部会事業の継続について、青少年健全育成部会以外は報告がされていないので、3月の全体会で報告する必要があるので、各部会での検討を依頼した。

意見[甘粕副会長]今年度の任期で検討するのはよいが、実際に動くのは新任期の委員となるので、次期に取り組む内容の議論は新年度に検討できないのか。

回答[畠山会長]次期委員が部会に所属するにあたり、前任期から行ってきた取り組みや次期に引き継ぎする内容を知ってもらうことが必要である。

意見[徳江委員]新委員が取り組む内容は、現任期の継続事項でも構わない。また、次年度、次期委員から新たな課題が出されれば、その内容に対して取組めば良い。

意見[高野委員]「片瀬歴史マップ」の製作が今年度末で終了となることから、資料への具体的な記載が難しい。

意見[甘粕副会長]江の島道整備事業自体についても部会でどのようにするかはっきりしていないので、次回の部会で議論する必要がある。

資料に記載した内容に対して、現在の委員が責任を持たなければならないので決めることはできない。

意見[笹岡委員]次年度に向けて事業の検討ということで方向性について触れていけば良いと思う。

意見[甘粕副会長]民俗文化財継承事業は継続し、片瀬餅つき唄、片瀬こまの保存会の支援活動は継続していかなければならない。

補足[横田センター長]終わった事業はそれで構わないが、取りこぼしをした課題など掘り起こしをしなければ、次の任期の方が何をするかわからないまま取り組んでしまうようになっている。バトンタッチするための材料を検

討してもらいたい。

意見[徳江委員] 弁天橋の花植え活動は元々まちづくり推進部会の一活動だったが、部会解散後も活動が継続されている。現在は部会ではなく、まちづくり協議会として支援している事業なので資料の一覧に掲載すべきではない。

回答[森井主幹] 弁天橋の花植え活動は、今回の資料で掲載されていたので除いていく。

5. その他

地域共生社会推進室から、資料を基に片瀬地区協議体での協議事項について、協議体の検討状況や今後の方向性について説明が行われた。また、市社協小野常務から、次年度にも引き続き地域と話し合いをしながら、事業を推進したいことが説明された。

以 上

令和３年度 第１２回片瀬・江の島まちづくり協議会全体会 議事録

期日 ２０２２年（令和４年）３月１７日（木）

午後３時３０分から午後５時まで

場所 片瀬市民センターホール

出席者

（委員）畠山会長、三觜副会長、甘粕副会長、澁谷（宏）副会長、
澁谷（晴）副会長、村越委員、甘粕委員、永由委員、吉見委員、
高野委員、阪井委員、徳江委員、桐生委員、飯森委員、笹岡委員、
小川委員、福島委員、金子委員

（欠席者）依藤委員

（事務局）横田センター長、森井主幹、関口、下間、後藤、國松、吉岡

１ 開会

森井主幹から、資料確認並びに当日配布資料について確認を行った。

また、当日配布資料として、事前配布した資料３「部会・事業の継続等」の修正版資料と、「コミュニティスクール」に関する資料、青少年健全育成部会の議事録が配布された。

２ 会長あいさつ

畠山会長からあいさつを行った。

３ 報告

（１）各部会からの報告

① ボランティアセンター運営員会

事務局吉岡から、緊急事態宣言中を除き、毎月ミニ講座を開催したことが報告された。「にこにこ広場」は通年で事業を実施し、今年の１月からは予約制を廃止することで誰でも気軽に来られるようになったことが報告された。

また、次年度からは「にこにこ広場」が公民館第１談話室で開催されることや、新たに障がい者相談を行うことが報告された。

なお、「ひだまり片瀬通信」は、今年度年２回発行したことが報告された。

② 青少年健全育成部会

三觜副会長から、２月１７日に部会が開催され、地区集会の資料の内容を確認した。また、次年度の部会の継続について検討を行ったことが報告

された。

③ 郷土文化推進部会

甘粕副部長から、3月16日に部会が開催され、「片瀬歴史マップの最終確認を行い、3月末に納品されることが報告された。また、具体的な活用の内容は、次年度に検討を行っていくとのこと。

④ 人材・情報バンクセンター運営委員会

澁谷（宏）副会長から、「地域活動見学&ボランティア体験会」が無事終了したことが報告された。次年度も継続して当該事業を開催していきたいとのこと。

(2) 各団体からの報告

① 片子連

三觜副会長から、3月24日ドッチビー大会を開催する予定だったが、学校での新型コロナウイルス感染拡大の影響から事業を中止となったことが報告された。

② 生環境

村越委員から、4月23日クリーン活動が開催されることが報告された。次年度は、開会式を開催する予定で片子連と協力し、各自治町内会にザル配布し、クリーン活動の際に「マイクロプラスチックを探そう」という企画を行うことが報告された。なお、雨天の場合、中止となることも併せて報告された。

③ その他

横田センター長から、当日配布資料を基に、今年度から片瀬小学校と秋葉台小学校で試行されているコミュニティスクールの概要について、相関図、今後の方向性、主な機能やコミュニティスクールを通じた効果などについて説明を行った。また、次年度は市内13地区内に1校ずつ設置する予定であることが報告された。なお、今後の動向について、適宜まちづくり協議会の全体会で報告していくとのこと。

4 議題

(1) まちづくり通信第41号について

森井主幹から、資料1（案）について説明。修正点等があれば3月15日までに事務局まで報告をお願いしたが、委員から特に意見等はなかったことから、事務局で誤字脱字などの最終チェックを行い印刷。4月10日号で全戸配布を行うことが説明された。

→修正点・意見等なし

(2) 令和3年活動報告集（案）について

森井主幹から、資料2について説明。地区集会の活動報告の内容をベースに作成していることが報告された。数字については、まだ未確定であることから、確定次第資料を修正し、印刷を行い4月以降に配布していく予定。

質問[笹岡委員]活動報告集の17・18ページが落丁している。

→会議終了時点で落丁しているページを配布した。

(3) 部会・事業の継続等について

①人材・情報バンクセンター運営委員会

澁谷（宏）副会長から、次年度に向けては記載のとおりであるので、引継ぎを行っていききたいとのこと。

②ボランティアセンター運営委員会

澁谷（晴）副会長から、ボランティアセンター事業の課題点の2つ目について、主語と述語がうまく結びついていないことから後で確認を行いたい。

また、課題の3つ目について、ボランティアセンターに来づらい方のために、出張講座などの実施を検討していききたい。なお、「片瀬ひだまり教室」は、今年度夏季から試行的に開催していたが、次年度は事業として実施することが報告された。

まちかど相談事業は、市社協の協力を得る中で、障がい者に関する相談について、新たに第4水曜日の午後に受けていく。

③青少年健全育成部会

三觜副会長から、事業名を実情に合わせて変更することを検討している。課題については、コロナ禍のため活動ができないことから、新たな生活様式に対応した事業について検討するとともに、意見交換会の実施などを通じ、青少年団体、公民館との連携した事業などを検討していききたい。

④郷土文化推進部会

甘粕副会長から、民俗文化継承事業で餅つき唄保存会と片瀬こま保存会の活動を支援しているが、餅つき唄保存会はコロナの影響から、2年間活動ができていないため、次年度は保存会と話し合いの場を持つなど、活動支援について検討していききたい。

また、片瀬こま保存会については、本年度も杉下氏が積極的に活動していただいていることから、引き続き活動支援をおこなっていききたい。

江の島道整備事業は、今年度「片瀬歴史マップ」を作製したことから、次年度はマップを活用した事業について検討していききたい。また、事業名について、道標などのハード面の整備が完了していることから、定期的な保全を行っていききたい。なお、江の島道整備事業は、片瀬歴史文化継承事業と名称を変更していききたい

⑤オリンピック・パラリンピック関連ワーキング

澁谷（晴）副会長から、今年度をもって活動終了することが報告された。

（４）２年間の振り返り

今回の全体会をもって、郷土づくり推進会議２年間の任期が終了となることから、各委員から感想等を報告した。

澁谷（宏）副会長 新コミュニティ施設を作るためにまちづくり協議会に参加し、目的の半分は達成できたがコロナの影響で２年間は遅くなっている。もう少し、皆さんの力を借りたい。次年度から２年間は片瀬山市民の家運営委員長を行うのでよろしくお願いします。

甘粕委員 「片瀬歴史マップ」が完成したことは地域活性化に大変良い。

村越委員 まちづくり協議会の活動を地域の人がもっと知ってもらえればと感じている。

飯森委員 新しいことをたくさん知ることができたので良かった。次期も引き続きお願いしたい。

吉見委員 青少年健全育成部会がコロナ禍でどのような活動をしていくか方向性に悩んだ。意見交換会を開催した結果を受け、出た意見などを基に次年度も取り組んでいきたい。コミュニティスクールでは何を地域に求められているのか考えていきたい。

金子委員 ３商店会で役員を持ち回っており、スバナ通商店会が次期になるのでよろしくお願いします。

阪井委員 委員になって皆さんが積極的に活躍していた。「片瀬歴史マップ」が無事完成してよかった。

高野委員 地域の役割が大切であることを感じた。青少年健全育成部会では、子どもに関する様々な団体や支援があることを知ることができた。また、郷土文化推進部会では「片瀬歴史マップ」が完成して良かった。

福島委員 郷土文化推進部会に所属し、片瀬歴史マップの制作に携われたのが良かった。今後については、このマップを活用した事業ができればよいと思う。

桐生委員 部会の役割がまだわかっていない状況である。もっと深く知りたいと思っている。片瀬山のことは知っているが片瀬のことや市のことは知らなかった。

笹岡委員 地区集会が２回開催できたことがとてもよかったと感じている。まちづくり協議会の使命として、防災や安全なまちを作ることに對して提言していくことが必要と感じている。

永由委員 退職を機にＪＪＢＣなどに携わることができてよかった。転勤により地域に携わることができなかったが、公募委員として４年間地域に関わることができてよかった。

徳江委員 コロナ禍での活動が大変だった。オンライン会議の開催などコロナと付き合っていく中で事業を行っていく必要がある。今後も活動を継続していきたい。

小川委員 大館氏の代理として出席していたが、活発な意見交換が出されるのが良かったと感じている。民生委員の任期が今年１１月までとなっている。それまでは頑張っていきたい。

５ その他

森井主幹から、現在、郷土づくり推進会議委員の委嘱式の準備を行っており、詳細については後日ご案内することが報告された。また、委嘱式終了後、全体会議を行い、役員を決定し、役員会を開催する予定。

６ 閉会

以 上